

YAMANASHI

・発行/山梨県PTA協議会 会長 小林奈都夫 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
 ・編集/山梨県PTA協議会情報委員会 ・印刷/総合印刷 王文社

子どもたちの「命」を守る使命



平成24年度
山梨県PTA協議会
会長 小林 奈都夫

天気予報で「明日の降水確率は90%」と聞いたら、多くの方は「傘」を用意すると思います。

では、30年以内に「88%の確率で東海地震」が発生するとしたら、皆さんは何を準備しますか？

水や食糧を備蓄することも大切ですが、それは生き残っていたら必要なもの。いつ起きてもおかしくないといわれている東海地震に備え、「命」を守る準備をしなければなりません。

特に、私たちPTAは、家庭や学校において、子どもたちの「命」を守る使命があります。東日本大震災では、PTA会員や子どもたちを含む多くの方々が亡くなられ、また、未だ仮の住まいで生活されている方が数十万人もおられます。亡くなられた方々の無念さと、被災された方々の悲しみは、もう繰り返してはなりません。

そこで、今年度、山梨県PTA協議会では、「様々な災害や交通事故から子どもの命を守り、防犯・防災につながるPTA活動を推進する」ことを、活動方針の重点項目に位置づけました。

今、大きな社会問題にもなっている「いじめ」をはじめ、交通事故、凶悪犯罪、児童虐待など、さまざまな要因によって、子どもの「命」が奪われています。こういった報道を耳にすると、非常に心が痛みます。

私たちは、かけがえのない「命」が失われることのないよう、現実を直視し、子どもたちを守り、悩みや問題行動に対し、適切に対応していくために、会員相互が協力しあって、人間性豊かな心を育むPTA活動を日常的、具体的に実践していかなければなりません。

PTA活動で最も大事なことは、「子どもの健やかな成長を願うこと」であり、これを後押しするために、保護者や教職員、地域や行政が一丸となって、諸問題に取り組み、解決していくことだと思います。

地域によって環境が異なり、各校PTAの活動は様々です。また、その時代にあった行事の見直しや検討、教育環境の整備・充実の要望など、多くの保護者のみなさんが参加し、意見を出し合い、PTA活動の活性化を図ることが大切だと感じています。

郡市をはじめ、県レベルでの解決策が必要な事例も少なくありません。山梨県の教育問題・課題を把握しつつ、県内各校のPTA活動を応援してまいります。今後も、PTA活動に対し、多大なご理解ご協力をいただけますよう心からお願い申し上げます。

「今だからできること」「今しかできないこと」に取り組んでいきましょう！

第38回

母親研修会・子育て講演会

講演会テーマ

「夢の応援団」～子どもと一緒に歩もう～

講師 萩原智子さん 元競泳オリンピック選手
現在 山梨学院大学カレッジスポーツセンター研究員
スポーツキャスター

日時 平成24年11月17日(土) 入場無料
13:30受付 14:00開演(16:30閉会)

会場 山梨学院大学 メモリアルホール(予定)

共催 山梨県精神保健協会

父親もご参加下さい

実施中

「心のきずな61キャンペーン」

震災で親を亡くした子ども達への教育支援金となる「心のきずな61キャンペーン」募金のお願いをしています。

窓口となる(社)日本PTA全国協議会へ、県内160単位Pから募金額 3,408,404円を6月19日に送金しました。その後、県P募金通帳に26万円振り込まれています。

平成24年6月9日(土) 甲斐市双葉ふれあい文化館

県教育委員長 久保嶋正子様をはじめ、多数の来賓を迎え開催されました。決算事業報告の承認の後、新会長の小林奈都夫氏が24年度の役員と共に、承認を得ました。

県P定期総会を開催

- 活動方針
- 1 子どもたちの心豊かで健やかな成長を願い、親や家庭の果たすべき役割を支えるPTA活動の推進
 - 2 様々な災害や交通事故から子どもの命を守り、防犯・防災につながるPTA活動の推進
 - 3 会員相互の資質向上と結びつきを強め、新しい時代に即応できるPTA活動の推進
 - 4 学校・家庭・地域の役割を再認識し、互いの連携のもと単位PTAを支援する運動の推進
 - 5 日本・関プロ・郡市・単位PTA・教育諸団体との連携による青少年健全育成と教育条件整備の推進

具体的活動

- 1.山梨県PTA協議会の運営
 - ◇新しい時代に即応できる適切な運営と活動に努める
- 2.教育相談・調査研究・情報収集事業
 - ◇県下8箇所での教育相談活動、携帯電話に関するアンケート調査
 - ◇関係機関との情報交換会議・研究会への参加、教育環境の整備に関する啓発運動
- 3.家庭・学校・地域社会教育に関する研修会や講演会活動
 - ◇母親研修会、PTA会長予定者研修会、広報紙づくり講習会
 - ◇教育研究集会、教育県民大行動、少年少女の翼などへの参加
- 4.PTA活動(社会教育)に関する表彰事業
 - ◇教育表彰、PTA活動表彰、広報紙コンクール表彰
- 5.家庭・学校・地域教育・安全教育に関する広報・啓発活動
 - ◇県P情報、ホームページでの情報発信
 - ◇安全安心普及事業
 - ◇PTA親子安全会・扶助会普及事業
- 6.教育・行政・日本PTA等関係機関との連携政策提言事業
 - ◇教育四者、県及び県教育委員会、日本・関プロPTAとの連携



詳細はホームページをご覧ください

平成24年度県P理事役員

会長	小林奈都夫	よろしく おわがいたします!			
親子安全会 扶 助 会	会 長 梶 謙一				
副 会 長	甲 府 植村武彦 中巨摩東部 桂原慎治 笛 吹 大村喜仁 峡 南 若狭秀樹 北 杜 田畑雅宏 都 留 志村浩哉 北 都 留 進邦徹夫 校 長 会 佐野保仁 母 親 代 表 田中利江 全 県 萩原智子				
常 任 理 事	南アルプス 坂野道夫 山 梨 樋田和美 葎 崎 貝瀬勝政 南 都 留 渡辺房貴 大 月 石井一暢 吉 田 総務委員長 横山勇志 甲 州 情報委員長 白川邦夫 企画委員長 植竹由美 母親委員長 石原初江 安全会審査運営委員長・扶助会認定委員長 天野文義				
監 事	三井久美子 中川智晴 中村裕一				

※その他の理事役員はHPをご覧ください。

常置委員長より
ひと言

企画委員長

植竹 由美(貫川小P)

今年はスマホなど日々進化する携帯電話についてのアンケートを小5、中2の保護者の皆様にお願いました。5年前の同じアンケート結果と比較研究し、子どもたちのために少しでも良い方向性が見出せたらと思います。

母親委員長

石原 初江(甲府東中P)

今年も母親研修会をメインの活動にして明るく元気いっばいな母親委員達で一年間頑張っていきます。私たちの笑顔とパワーが山梨中に届いたらいいな...と思っています。よろしくお願いたします。

総務委員長

横山 勇志(吉田西小P)

県P理事会・常任理事会等運営に携わります。委員長といたしまして、微力ではございますが、会の円滑な運営に努めていきたいと思っております。是非とも宜しくお願いいたします。

情報委員長

白川 邦夫(塩山北小P)

県Pの活動を「県P情報YAMA-NASH」と、「山梨県PTA協議会」のホームページにて紹介、報告していきます。せっかくの活動をそれだけで終わらせることなく、皆さまにお伝えできたら幸いです。ご協力をお願いいたします。

安全会審査運営委員長

天野 文義(猿橋小T)

本委員会は児童・生徒・PTA全会員の事故傷害への見舞金を支給するため、年間9回の審査会を開いています。学校内外でのさまざまな事故に心痛めつつ厳正かつ公平な審査を心がけています。

今年も強し!北杜勢!!

山梨県PTA協議会 広報紙コンクール 5月19日 かいてらす

審査の結果 つぎのPTA広報紙が、選ばれました。

最優秀賞

北杜市立高根北小学校PTA 「もみじ」

東日本大震災を受け、防災対策をテーマにした企画やアンケート結果を掲載した新聞が目立った。「もみじ」は被災地の学校との交流をレポート、紙名「もみじ」の由来をたどるなど、豊富な話題を丹念な取材で取り上げた。写真の構図や紙面レイアウトにも工夫した。(審査委員長: 山梨日新聞社 読者センター 中村 誠 評)

- 優秀賞 北杜市立高根東小学校PTA 「のぞみ」
- 優秀賞 甲州市立塩山北小学校PTA 「北 辰」
- 奨励賞 甲府市立南中学校PTA 「みなみ風」
- 奨励賞 甲府市立南西中学校PTA 「いちよう」
- 奨励賞 西桂町立西桂小学校PTA 「すいせん」



各都市Pからの活動報告



甲府地区 植村武彦(東中P)

本年度、私たちは「子どもたちのために今できることを考え、行動すること」を念頭に置き、各種研修会・意見交換会の開催、県防災安全センターにおける防災体験、教育予算や学校給食に関する行政への要望活動、市P連だよりの発行など様々な活動に取り組みます。

来年1月19日(土)には、「命の授業」で著名な腰塚勇人様の講演をはじめ、本会活動のパネル展示などを行う全体研修会を総合市民会館で開催します。



中巨摩地区 桂原慎治(竜王中P)

甲斐市PTA連絡協議会では、教育環境を取り巻く時代の変化に対応し、児童、生徒が安心して学校に登校できるよう、毎年、11月に教育環境の充実を目的に要望事項の取りまとめを行い、快適な学校生活の実現のため市に働きかけを行っています。これまでも多くの要望事項が実現化され、未来を担う子どもたちの健全育成に寄与しています。

昨今、いじめ問題がクローズアップされております。子どもたちの尊い命を守るためにも家庭教育の充実が必要不可欠です。市P連としても親(parent)と先生(teacher)の絆を深め、単位PTAの思いや悩みを持ち寄り、解決の糸口を模索できるような研修会の開催を検討していきたいと考えております。



峡北地区 田畑雅宏(小淵沢中P)

北杜市PTA連絡協議会におきましては7月に実行委員会を開催し8月末に各小中の要望書をとりまとめ9月下旬に北杜市長へ義務教育振興のための要望書を提出しました。韮崎市PTA連絡協議会と共に義務教育振興大会北巨摩集会に向けての行動概要発表等の準備に取り組んでおります。私が会長を務める小淵沢中学校におきましては9月下旬に創立50周年記念式典の講演会を多くの来賓の方にお越し頂き開催することができました。



北都留地区 進邦徹夫(上野原西小P)

北都留小中学校PTA連合会は、上野原市、丹波山村、小菅村の1市、2村にある15の小中学校PTAから組織されています。ここ数年で、学校適正配置に伴う小中学校の統廃合が続き、会員校の数も年々減少して参りました。学校の統廃合が、子どもたちの生活・学習環境に与える影響については、今後注意深く見守っていく必要があります。これまで以上に、学校、保護者が、地域のみならずとの連携を進める所存です。



峡東地区 大村喜仁(一宮北小P)

子どもたちのよりよい成長は、私たち大人が日々努力し成長していく中にあるのではないのでしょうか。笛吹市PTA連合会では「子どもたちのすこやかな発達と健全育成をめざすPTA」をテーマに10月に行われる、笛吹市PTA研修会に各単P一丸となり取り組んでおります。

また、毎年教育環境改善のため各学校からの要望を集約し、市長へ要望書を提出させていただき学校の施設・設備・安全対策等の改善につながっております。そして、学校、PTA、教育委員会の三者からなる笛吹市教育懇談会においては、義務教育振興会議への取り組みを通し、あらゆる角度から子どもたちの教育環境を考え活動しています。今後も地域との連携を密にして地域一体の教育環境の改善により一層努力していきたいと思っております。



峡南地区 若狭秀樹(久那土中P)

峡南PTA協議会は、峡南地区5町の小学校24校、中学校12校の計36校で構成されています。峡南義務教育振興会議や峡南地域教育フォーラムへの開催協力、アフリカ飢餓救援活動、富士川流域クリーン活動等の事業展開、各町による「教育を語る会」の実施等が本年度も計画されています。各単位PTAの連携協力により、児童生徒の健全育成と福祉の増進を目的に、家庭・学校・地域との連携も密にしながら、積極的にPTA活動を展開していきたいと考えています。



南都留地区 志村浩哉(都留第二中P)

南都留地区PTA連絡協議会は都留市、富士吉田市、南都留郡の各PTA連合会で構成されています。

各連合会の教育四者を中心に地域教育推進連絡協議会を形成し「教育フォーラム」を開催したり、他にも「義務教育振興会議」「南都留地区教育祭」等々、家庭教育・学校教育の充実促進を図っております。当地区が有する、世界遺産登録が期待される富士山のように大らかで立派な人材が育つ様、これからも役員一同、子どもたちの健全育成を期した教育事業に取り組んでいく所存です。

第60回 日本PTA全国研究大会 京都大会 8月24日(金)~25日(土)

1日目:特別第2分科会 会場/舞鶴市総合文化会館
東日本大震災から見た学びの場を核とした地域の「絆」づくり

松原耕二氏(TBSテレビキャスター)による基調講演では、ジャーナリストとして、自分の目で見てきた3.11を世代責任として、復興、原子力問題に関わっていかうとする覚悟を感じさせた。

午後からのキーノート講演でも、研究課題に沿った話を聞くことができ、大変よかった。

震災を体験した6年生の作文発表、自分の言葉で震災当日のこと、今の自身の環境などを語り、会場全体で、彼の言葉を受け止めたことも、意義深かった。



2日目:全体会 会場/国立京都国際会館
加藤登紀子氏 「スマイル・レボリューション」

加藤登紀子氏の記念講演会は歌とトークで、感動的な構成となっており、これまでの研究大会にはないやり方で、印象的だった。

前日の分科会内容とも重なり、改めて、震災復興への思いを確認した。祝辞、挨拶の中に、それぞれの熱い思いが込められていて、メッセージ性高い全体会開会式、閉会式であった。

全国研究大会に参加しての感想

昨年からの流れで、3.11を経験した現世代の役割を意識した大会に参加したことで、PTAとしてこれまでの事、これからの方向性を考える情報を得られた。

直前に起きた豪雨で予定していた分科会会場が使えなくなるアクシデントにもかかわらず、京都の方々は、水害の事など何もなかったかのように、おもてなしの心を表現してくださり、頭の下がる思いがしました。

副会長 萩原 智子(甲西中P)

監事 三井久美子(御坂西小P)

京都大会に参加してきました。

親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会

会長 榎 謙 一

PTA親子安全会は昭和46年8月に開催された日本PTA全国研究大会でPTA会員のための相互扶助の見舞金制度として各都道府県が自主的に実施することが決議され、山梨県では昭和50年4月1日に互助の共済制度方式を採用し、会員相互の助け合い精神の下にPTA親子安全会が発足しました。

平成20年度からは保険業法の改正に伴い社会通念の見舞金制度へと変更になり、親子安全会の積立基金を移管してPTA会員である保護者が死亡した場合に、残され

た児童・生徒の厚生援助を主な目的とする山梨県PTA扶助会が設立されました。

本年度も親子安全会・扶助会では、地域の宝である子どもたちの健やかな成長を支えるために、会員の不慮の事故に対する見舞金や死亡弔慰金の給付、健康安全教育の活動や福祉増進の取り組みに対しての助成など、PTAを側面から補助する活動を行ってまいります。これらの詳細については各学校より配布される「山梨県PTA親子安全会の手引」をご参照下さい。

また、平成23年度に発生した事故や怪我等の状況別の件数を、下記に掲載しております。その事例を参考に、親子ともども安全意識の高揚につながればと考えています。

今後とも皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

平成23年度親子安全会・扶助会報告

原因別件数(全1,838件中上位10項目)

けがの原因	件数
1 球技によるけが	499
2 遊んでいてのけが	377
3 自転車によるけが	178
4 転倒によるけが	145
5 交通事故	95
6 病気死亡	70
7 格技によるけが	51
8 ドア、ガラス等によるけが	36
9 転落によるけが	35
10 スキー、スケートによるけが	34
10項目合計	1,520

種類別件数

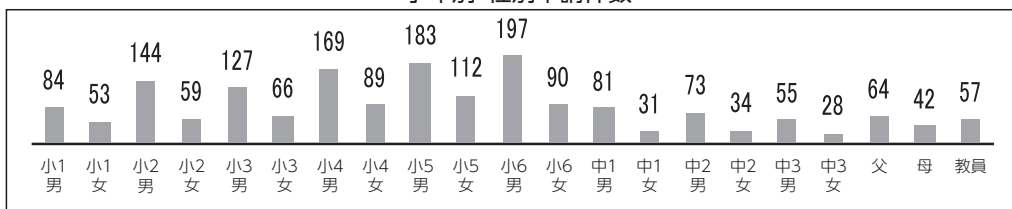
(全1,838件中上位10項目)

けがの類別	件数
1 骨折	741
2 捻挫	301
3 挫創	191
4 損傷	106
5 打撲	87
6 病気死亡	70
7 切創	68
8 挫傷	60
9 熱傷	35
10 咬傷	22
10項目合計	1,681

郡市別申請件数・見舞金額

郡市	件数	金額
甲府	305	5,201,250
中巨摩	396	6,233,630
甲州	108	1,175,290
山梨	102	1,132,440
笛吹	112	2,016,150
峡南	138	1,559,290
韮崎	75	1,117,940
北杜	129	1,615,540
吉田	122	2,297,640
都留	81	1,223,340
南都留	152	2,088,380
大月	49	526,540
北都留	69	809,800
合計	1,838	26,997,230

学年別・性別申請件数



※平成23年度は75名の保護者の方がお亡くなりになり、扶助会から総額7,500,000円が支払われました。

教育相談事業

教育四者(PTA・校長会・教頭会・教育会)による教育相談室

山梨県PTA協議会、校長会、教頭会、教育会の教育四団体は、教育相談室を開設しています。相談員は学校現場を退職した教員のOBで、教育現場で最も活躍し、児童生徒とのふれあいも多かった先生方です。また、長年相談活動を手がけており、県教育委員会から教育相談員として任命もされています。

子育てなどに関わる悩み事、心配事がありましたら気軽に活用ください。

相談会場等案内

相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第2・4水	雨宮 正文
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	随時	塚越 武文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鯉沢795-4	0556-22-1500	第1・3水	土橋 士郎
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	毎週金曜	辻 高廣
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・3月	上野 幸治
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時	三浦親太郎
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	随時	奈良 一功
全県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-33-7	055-228-1342	随時	早川 憲三 武井 文雄

編集後記

連日の「猛暑」も落ち着き、秋の気配を感じる今日この頃。先日行われた「情報委員会」では、限られた紙面の中で、「どのように情報を発信していくか」について、活発に意見が出され、とても充実した会となりました。今回は、日々行われている皆さまの活動を、諸先輩方が検討された良いところを残しつつ、発行することができたと思います。

また、ホームページでも、皆さまの活動を広く発信していきたいと思っています。「価値ある活動を是非知っていただきたい。」と切に願います。情報の提供等、皆さまのご協力をお願いいたします。

情報委員長 白川 邦夫